

## 骨粗鬆症⑧ 骨粗鬆症による骨折

### 胸腰椎圧迫骨折（背骨の骨折）

ご高齢になると誰でも徐々に身長が低下してきます。その原因となるのが胸椎や腰椎（背中の骨）の骨折です。健康な成人の背骨は約1000kgの荷重にも耐えられるといわれています。体重の約5～6倍の負荷が背骨にはかかると考えられていますので通常は300から400kgの負荷がかかっていると考えられます。つまり健康な成人の背骨は通常の負荷の数倍にも耐えられるようになっているのです。しかし骨粗鬆症になると耐えられる負荷の程度が約500kgとなり少し過剰な負荷がかかっただけで骨折を生じるようになります。

**診断**は通常エックス線撮影で行いますが、軽度のものでは初診時には診断できない場合もあります。また**以前から症状がなく骨折が生じている場合**もありエックス線像で骨折があっても今回生じたものかどうか判別に迷う場合もあります。感染症、癌の転移、血液疾患などとの鑑別も大切です。

**治療**は主にギプスやコルセットで固定します。痛みが強い間は安静になりますが**寝たきり予防のためにはできるだけ安静期間は短いほうが良く**、早期にリハビリが必要です。通常は徐々に痛みは軽減しますが、骨の癒合が悪い場合や多くの骨に骨折が生じた場合などは痛みが続くことがあります。また後になって下肢の麻痺が出現することがありますので注意が必要です。

多くの骨に骨折が生じると背骨が曲がり歩行するのにも杖が必要となります。現在は骨折予防効果が証明された薬もありますので**早めの予防が大切**と考えます。



（圧迫骨折のエックス線像）

骨密度の測定を希望される方や、骨粗鬆症に関して質問のある方は整形外科医師に気軽にご相談ください。

（文責 古川）